

広聴特別委員会記録

令和6年5月10日

【開催日】 令和6年5月10日(金)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時32分～午後3時34分

【出席委員】

委員長	森山喜久	副委員長	前田浩司
委員	奥良秀	委員	白井健一郎
委員	中島好人	委員	藤岡修美
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

【事務局出席者】

事務局参事	河口修司		
-------	------	--	--

【審査内容】

- 1 市議会モニターとの意見交換会について
- 2 議会カフェについて
 - (ア) 進め方について
 - (イ) 役割分担について
- 3 その他

午後1時32分 開会

森山喜久委員長 皆さん、こんにちは。ただいまから、広聴特別委員会を開会いたします。それでは、付議事項の1番になりますが、市議会モニターとの意見交換会についてということで、それぞれ資料を添付させていただいておりますので、まず市議会モニター意見交換会報告書の1月17

日の報告書を出してください。1月17日水曜日に午後2時から午後3時まで開催しました。参加モニターが2人ということで、私たち委員会は、森山、前田、奥の3人で、モニターとの意見交換会を行いました。そして、意見交換会の主な内容は、今、記載のとおりとなっております。その中で、次ページにあります、6、要望・意見などで、「YouTubeで一般質問を見たが、HPの写真と映像の姿に違和感がある。写真撮影の時期を揃えたほうがよいのではないか。議員を選ぶ要素に経験や年齢は判断基準となると思う。」という意見がありました。7、今後、検討すべき意見として、「一般質問のテーマに対してのタグなどがあれば、YouTubeでもっと見やすくなるのではないか。」という意見がありました。その形で1月17日の2時からの意見交換会の報告書をまとめさせていただいておりますが、これについて、加筆というか確認すべきことはありますか。

白井健一郎委員 確認すべき事項についての答えにはなっていないんですが、私は昨日も一応タブレットを開いたんです。今日のこの広聴特別委員会の付議事項及びそれに関する資料というのは、いつこのタブレットに上げられたんでしょうか。時間をある程度取ってもらわないと、全部目を通すのも難しいと思ったんですけど、どうでしょうか。

森山喜久委員長 本日の資料を上げさせていただいたのは、正式には今日の午前中に上げさせていただきました。前回の委員会の際に、こちらの資料を出させていただいて、不十分であったところを加筆してお示しをさせていただいていると。ですので、これら全てが新しいというわけではないんですけど、早めに出していなかったということは、申し訳ありませんでした。

白井健一郎委員 特に広聴特別委員会っていうのは、例えば、議会モニターだとか議会カフェだとか、うまくいくように日程調整などの事前の準備とか、工夫が要る委員会ではありますので、これからはもうちょっと準備

の期間を取っていただきたいなと思います。

森山喜久委員長 了解しました。こちらの意見報告書については、今、ゆっくりと一読していただけたらと思います。その中で、御意見とかありますか。特にこの当時出席された前田委員、奥委員で気になる点があれば。よろしいですかね。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、1月17日の14時から18時の分の報告書はこちらで報告させていただくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に、17日の6時から18時の市議会モニター意見交換会になります。1月17日18時から19時20分までで、参加モニターの方は1人で、森山、前田、中島の3人で対応させていただいたという内容になります。意見交換会の主な内容は、お読み取りいただけたらと思います。その中で、7、今後、検討すべき意見ということで、「市民の声を聞くためにアンケート調査をされてみては。返信ハガキなど検討されてみたらどうか。」という御意見を頂きました。これは議会だよりを読まれたときに、読まれた市民の声を聞くためにアンケート調査をされたらどうかということになります。そして、「人が集まるところで議会カフェを行う方法もあるのではないかと。山口東京理科大学での議会カフェ開催もどうか。」という御意見がありました。この方からは、コバンザメ商法みたいな感じで、人が集まるところでこういう議会カフェなどを持っていったら、人が来てもらえるんじゃないかという御提案を頂いたところです。こちらの報告書に対して御意見はありますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、17日の18時から19時の報告書については、これでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、次に、18日の午後2時から19時の市議会モニター意見交換会になります。18日の午後2時から午後2時半までということで、参加モニターが1人、森山、前田、藤岡の3名の議員で対応させていただきました。こちらのときは、車座、口の字の状態でさせていただいたという記憶がありますが、意見交換会の主な内容はお読み取りをいただけたらと思います。あと7、今後、検討すべき意見ということで、「議会カフェの開始時間を10時に出来ないか」という御意見があった

と認識をしております。こちらの意見交換会の報告書で、前田委員、藤岡委員で、何か気になる点とかありますか。報告書はこのような形でもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

白井健一郎委員 結局、この議会カフェの開始時間を10時にできないかという問いに対しては、どういう答えが出たんですか。

森山喜久委員長 そちらについては、10時からしたいという形で頂いたので、また検討すると答えさせていただいております。内容をまだこちらの委員会で議論しておりませんので、まだその議論をしていく必要があるということです。取りあえず報告書の分と検討すべき意見という分で、意見を上げさせていただいているということですが、こちらの報告書は以上の形でもよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは18日の分を終えまして、19日になります。1月19日の午後2時から午後3時40分までということで、参加モニターが3人で、森山、前田、白井、宮本の4人の議員で対応しております。意見交換会の主な内容は、今、記載しているところがありますが、6、要望・意見など、やはりLINEの取扱いというか、「LINEのことを知らないモニターもいた。」ということと、7、今後、検討すべき意見ということで、「YouTubeに外部リンクを付けて、一般質問の通告書に飛べるようにしてもらいたい。」ということと、「議会だよりをハードカバーにするなりして、市広報よりも目立つ方向を意識してはどうか。」「議会だよりは、若者が読みたくなるような表紙にしてはどうか。若者の意見がほとんどない。」あと、「LINEの通知を見ることが多いので、一般質問をいつする、といった通知を、HPのリンクもつけて、行って欲しい。」という意見を頂いています。こちらの報告書で、皆さんのほうで気づきとか意見はとかありますか。

白井健一郎委員 このモニターの具体的にこの箇所に対する質問や意見というわけじゃないんですが、ユーチューブのことが出ているので、言います。

私も最近ユーチューブを見るようになったので思っているんですが、委員会で暫時休憩というのがありますよね。その時間を編集するとき削ることによって、時間がかかなり短縮されるんじゃないか見やすくなるんじゃないかと思うんですけど、そういう提案はどうでしょうか。まず技術的に可能かということと、実際にそれができたほうがいいんじゃないかなと思うんです。

森山喜久委員長 リアルタイムに流しているユーチューブとは別に、こちらのほうでまた再度そのユーチューブを加工して行っていくという話をしたらどうかということですかね。まずそちら技術的な部分も含めて、あと外部リンクをつけてできるかどうかというのを、またこちらの内部でやるのであれば、私たち議員の誰がやるのかとか、担当を決めてやっていくという形になっていくと思うんですよね。このたび、検討すべき意見として、そういうのが上がってきていると。それを今後また協議する題材という形になりますので、一つの意見として暫時休憩を削るところも含めて、それとともに外部リンクをつけて飛べるようにするという技術的な手法を検討してはどうかというふうに捉えたいと思います。

宮本政志委員 今、この付議事項1点目の流れが僕はよく理解できないんだけど、当初、委員長は、最初の6番と7番について加筆等はございませんかということで、モニターの意見交換会の報告書そのものの修正とか訂正とか加筆関係を今やっていました。それぞれの意見とか要望とかに対して、どのように検討していくのか、ここはどうするのかという方向まで最初から入っていたんですか。報告書そのものの修正、訂正、加筆等ございませんかということじゃないかな。それで、この報告書がきちっと出来上がった時点で、このモニターたちの意見に対して、それぞれに振るなり、広聴特別委員会が考えないといけないところは、検討に入っていくましようという流れかと思っていたんです。今、白井委員の質疑が出て、委員長がそうやって答えるんだったら、もう一発目のこの意見報告書のところから、いろいろそこまで深く入っていかないといけな

いから、今の流れがよく分からないんですけど。

森山喜久委員長 あくまで報告書の内容の確認です。宮本委員が言われていたように、1月分の報告書の確認を先にして、あとは今後、検討すべき意見を抽出したものを皆さん方にお示しする中で、担当委員会とか、広聴特別委員会であればどのような形で対応していくかとかという議論に入っていきたいと思います。ですので、今のところは、こちらの報告書の作成の報告書の内容で、これでいいかどうかの確認でお願いいたします。

宮本政志委員 これは白井委員と私が参加しているところで、これは私の記憶違いかもしれませんが。一番最後の「LINEの通知を見ることが多いので」という部分は、確か「今、市がやっているLINEにそれを載せてもらったかどうか」という意見があったと思うんだけど、違いましたか。

森山喜久委員長 内容としてはその形になります。議会の認定があれば、その認定の部分を通ずるなり、一般質問があれば、いつから一般質問しますよ、という市の公式LINEの話です。

宮本政志委員 そうすると、今の記憶が正しかったね。市の公式LINEに載せるっていう前提で、「一般質問、あるいは、その通知、ホームページのうちのほうのリンクも」という形にこの文章は少し修正していただけませんか。

森山喜久委員長 今言われていましたように、市の公式LINEでございますので、こちらのほうで加筆をしたいと思います。あとはよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり） それでは1月19日の意見報告書はこちらでよろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり） 4月の分までまとめて、あとそれぞれ出そうと思いますので、4月24日のほうも行かせてもら

います。4月24日の午後2時から午後5時で、森山、前田、中島の3人で対応させていただいたものです。5の意見交換会の主な内容は記載のとおりになりますが、6の要望・意見などで、「議会カフェも東京理科大とか高校、中学とかで開催しても良いのではないかとということで、先ほど人が集まる場所であったらいいのではないか。」という意見があったということです。括弧書きもさせていただいています。7、今後、検討すべき意見で、「団体に所属しているモニターも出ているのか。」というのと、「事情があって欠席されることは仕方がないが、ドタキャンで欠席するのは失礼だと思う。」という意見を頂いたというふうにあります。

宮本政志委員 今の7の二つはどういう検討をしたらいいんですか。それぞれちょっと、これモニターの意見交換会に出た方が委員長、副委員長と中島委員ですね。これはどういうふうに検討したらいいんですか。団体に所属するモニターも出ているのか、いついつ出ています、出ていません。事情があって欠席されるのは仕方ない。ドタキャンで欠席は失礼だと思う。これは多分主観でしょうけど、私は別に失礼とは思わないので、それをもって、これは何を検討してくれってことですか。

森山喜久委員長 モニターについては、個人での立候補と団体推薦があるというところで、団体推薦の方は充て職の方がいるということになっていきます。その中で単身赴任された方が団体推薦のモニターのままでいらっしやって、今の要綱上に団体推薦の方を入れ替えると記載しておりませんので、結論を出した中で、要綱の変更が必要となってくると。今もう既に上にも書いているので、検討すべき意見ではないと言われたらそうかもしれないんですけど、一応そこで挙げさせていただいたということになります。あと、それに伴いまして、欠席される方が、どうなのかという意見もありましたので、こちらについても意見・要望に挙げて、モニターの方にも積極的に出席をお願いするという形が必要なのかなと思っています。今、7に書いている2点に関しては、6番の要望意見にした

ほうがいいのかと思います、いかがでしょうか。

白井健一郎委員 この7番の検討すべき意見ですけど、これ団体に所属しているモニターも出ているのかと。あと、ドタキャンで欠席と。これは結局、多分公募に個人で応募された方々がこういう発言をされたと思うんですね。厳密に確認を取ったわけじゃないですけど、恐らくこういう団体推薦で来た方の熱意は、個人で公募できた方よりは低いんじゃないかという意図を感じ取ることができました。公募と団体推薦で半々でしたっけ。詳しくは分かりませんが、それをまた改定することがあったときの検討材料として使ったらどうかと思うんですけど。

森山喜久委員長 今、公募の方は9人、団体推薦は6人で、15人のモニターの人数枠というふうになっています。

前田浩司副委員長 今後また改定するときに、本当に団体推薦の方の参加率が悪いということであれば、一般の公募の枠を増やしていくなど、という意見にしたらよろしいんじゃないかなというふうに思うんです。

宮本政志委員 今、白井委員が言われたことが、モニターが言われたんなら、団体推薦に対してこういう理由で考えてみたらどうですかっていう御意見なら、これは検討すべき意見ですね。それをこっち側が、こうでしょうって勝手に解釈して書いたらいけないから、委員長、それ正しいんですか。すみません、私はそのときいなかったから分からないけど。今、白井委員が言われたようなことだったら、これは検討すべき意見になるでしょう。団体に所属しているモニターも出ているんですかっていうのは、出ていますよ、出ていませんよだけなら、これは意見というよりも質問になるけれども、今、白井委員が言われたことが正しいのであれば検討する意見になるよね。

森山喜久委員長 そうですね。私の捉え方は、白井議員が言われた分で理解し

ています。ただ、それについて前田議員、中島議員がどう捉えたかというの、分からないんですけど。

藤岡修美委員　そういうことだと、この議員の回答が若干おかしいと思うんです。補充の仕方っていうのは、代理で誰か出せないかという議員がそういう回答をしているんだったら、それはちゃんと答えてください。

森山喜久委員長　こちらのほうも2種類出した意見と、議員と事務局で出した意見を合わせた形になっております。ですから厳密にはもう二、三やり取りがありますので、そちらはもう少し詳細に書き直して、7を加えたほうがよろしいですね。

宮本政志委員　7の二つ目は、ドタキャンは失礼でしょうっていう意見のみだったのか、こうしたらいいんじゃないんですかというような意見は出たんですか。出たのなら、それを元に検討していかないといけないけど。

森山喜久委員長　私は、自分たちは責任持って参加しているにもかかわらず、ドタキャンをされたということに対して、やはり責任感が薄いんじゃないかと、欠如しているんじゃないかというニュアンスで言われたと認識しています。この2点の7のところを再度整理して、それをまたお示ししたいと思います。これは、保留にします。次、4月25日の午後2時からの分で、参加モニターが3人で、森山、前田、奥、藤岡の4人の議員で対応させていただいた案件です。今回、5の意見交換の主な内容はボリュームがあると思います。6の要望・意見などのところで、「議員の発言の仕方がいつも気になる。何を言っているのか聞きづらい議員がいるので、スピーチ、話し方の訓練をして頂きたい。」、「一般質問のときに、これは現状を述べているのか、感想なのか、自分の意見を述べているのかが分からない議員がいるので、そこの境目をはっきりして頂きたい。」、「委員会では、今後の市の10年後、20年後のことを考えた質問、掘り下げたものをしてほしい。詳しい質問をしているように

は思えず、これで終わりか、みたいに感じている。」。7のほうの今後、検討すべき意見として、「Y o u T u b eの画面からリンクを張って欲しい。(1月と重複)」というのと、「Y o u T u b eを使いたいという気持ちはあるけれど、使い方が分からないという方もいると思う。Y o u T u b eとはこうやって使いますよ、アプリとはこういうものですよ、という講座や動画をつくってはどうか。」、「T h e市議会の記事は、継続的に記事を出してもらえないかと。例えば委員会レポートで、堤防をつくることになりました、予算はどれくらいです、という記事で終わるのではなく、後日、堤防がこんなにできましたっていう写真を載せるなど、継続的にして欲しい。一般質問のことも同様のここの意見がありました。そして、「市公式L I N Eに、何故市議会が入っていないのか、定例会の日程や一般質問、委員会ができないか。」という意見がありました。

白井健一郎委員 6番の要望のところを見て言っているんですけども、議員に対しての要望というか意見というか、そういうのがありますよね。「スピーチや話し方の訓練をして欲しい」とか、「現状を述べているのか、感想なのか、自分の意見を述べているのか分からない議員がいるので、境目をはっきりして頂きたい。」とか、「今後の市の10年後、20年後のことを考えた質問をして欲しい。」とかというのは、ここで議論するよりも、こういう御意見があったということで全議員に何らかの形で伝えることで一段落つけるという方法もあるんじゃないでしょうかと思いました。

森山喜久委員長 そうですね。要望・意見として、これらが今挙げたと確認できれば、そういう形までしていけるのかなと思いますが、ただ、それがいいかどうかというのもありますので、この場で議論をしていただけたらと思います。

宮本政志委員 それ以前なんですよ。これ6番の2番目で、一般質問のときに、

現状を述べている、感想を言う、一般質問で、自分の意見を述べると。それが分からないから境目をはっきりしてほしいと。そもそも一般質問で自分の意見をたらたら、感想をたらたら、現状をたらたらですか。一般質問って、そうじゃないでしょ。だから、今、白井委員が言われたように、「これを全議員にこういう意見がありましたよ」って言ったら、この意見が正しいという前提になるわけよ。これ間違っていると思いますよ。そうすると、この意見交換会の場にいた委員が、一般質問とは何なんかっていうことで、そこで意見交換をして、ここにこのまま載っていることに私は違和感を覚えるんですけど、委員長、いかがですか。

森山喜久委員長　そうですね、一般質問とは何ぞやという議論は、このときちょっと不十分だったのかなと思っています。

宮本政志委員　このモニターの意見交換会のときもそうですし、議会報告会の進行でもそうです。例えば、ここの3番目で、10年後、20年後の掘り下げたものをしてほしいと。掘り下げたものって、例えば、モニターは具体的にどういったことを考えているかっていうのをそのときに聞いてないんですよ。これ一概に掘り下げたものって言われたって難しいですよ。だから、ちゃんと意見交換のときには、その辺りっていうのを、――議員は何人いたんですか。4人もいたんですよ。4人もおって一般質問のことを言われて、違和感がなかったんかなと思うんです。だから、その辺りをきっちり我々委員が理解して意見交換をしないと、間違ったことを言われても、「はあ、そうですね」、「ここで検討しましょう」では、おかしくなりませんか。

森山喜久委員長　御指摘のとおりと思います。

白井健一郎委員　今の宮本議員の御意見を聞かせていただいたんですが、例えば、掘り下げたものをしてほしいということがありますよね。これ、もうちょっとこちらが掘り下げるなら、あなたは誰のどういう質問で、ど

ういうところに物足りなさを感じたんですか、ということになってしまうので、それはそこまで個人の質問が、——ちょっと私はどうかなと思いますね。私が先ほど提案したのは、これを意見として、全議員に配ったとしても、それは別に我々が正しいと判断したわけじゃなくて、もう議員の皆さんおのおのが判断してください、こういう市民の意見がありました、モニターの意見がありました、ということぐらいじゃないと。私は、委員長と副委員長の手間と仕事の分量を考えますと、それぐらいでいいんじゃないかと思ったから言ったまでです。

森山喜久委員 この御質問をされた方は、一般質問よりは委員会に2日来られて意見を言われていたと認識しています。意見を言われる中で、最初のほうにセレモニーのように感じるというふうな部分もあって、そのやり取りの中でも、こちらのほうも執行部から説明があります、それに対して私たち議員も質問してやっていっているんですよという話の分も含めてさせていただいているんですが、本人が、それはもうちょっと掘り下げるんじゃないか、もうちょっと行けるんじゃないかっていう形で、何か言うのをためらっているんじゃないか、議員のほうはちょっと遠慮しているんじゃないかと思われていたところがあったと思います。

藤岡修美委員 森山委員長を若干フォローさせていただくと、1人のモニターは確かにこういうふうに言われて、逆に私があとの2人のモニターに聞き直したときは、そうでもないよってという回答だったような記憶があります。

森山喜久委員長 そうですね。そちらの意見もありました。

白井健一郎委員 これからも関連することが出てくるかもしれないこれに絡めての私の意見なんですけど、例えば「もう少し質問を掘り下げてほしい」と、それを例えば具体的にどういう質問、ここまで掘り下げるべきだったんだっていうことを、ある意味、例えば、この委員会で調べてみると

か、モニターに改めて聞くとか、そういうことをする、中身にある程度踏み込むかどうかっていう問題にもつながると思うんですよね。この日だったか私が傍聴したときだったか忘れましたが、あるモニターが、この論点のこの質問は物足りなかったたって具体的に言われることもあるんですよね。そのときに、それは私たちが、もう一遍検討して意見というのは、やっぱり議員個人の責任において外に発表するわけですから、そこまで他者が介入していいのかどうかという問題、あるいは、逆におのおのの議員の質を高めるために、みんなでというか、まずこの広聴特別委員会で検討するとか、あるいは実際に発言した委員とのやり取りを試してみるとか、広聴特別委員会としての答えはこうでしたとあんまり厳密に決めるのではなくて、融通を利かせて、モニターであれ、一般市民の方であれ、議会と市民とのやり取りというものをもうちょっとハードルを下げてやってみたらどうかという思いはあります。

宮本政志委員　これ今、私が言うのは、具体的にどうしていったらいいかっていうところじゃなくて、この文脈についてどうかってことです。2点目なんかは、この一般質問は感想や自分の意見を述べる場じゃないから、その境目をはっきりしていただきたいっていうところは、はっきりする必要がないってことです。そもそもが。だから、何でもう少し詳しく聞かなかったんですか、つまり、ここに載せることじゃないでしょうって僕は言いたかったわけです。それで、次の委員会でも10年を考えた質問って出ているけど、委員会だから質疑ですよ。掘り下げたものをしてほしいというのは、どういうことを言っているのかな。「これで終わるかみたいに感じている。」って、これで終わりかって、そりゃ、そうでしょうね。掘り下げてなくて、そこをもう少し詳しく意見交換会のとときに聞いて、あと検討ができるような、あるいは要望なのかっていうところに持っていけるような聞き方をした上でここに載せてほしかったってことです。それを今言っています。だから過失とか云々とか言ったら、僕は二つ目は要らないと思うんですよね。それを今言っています。この意見要望に対してどうしますかの議論はまた後の話でしょう。いや、違

うんですか。委員長、その辺りをしないと、おかしくなりませんか。

森山喜久委員長 今、宮本委員が指摘されたとおり、6番の要望・意見であれば、こちらのほうの意見がここに掲載するのが必要かどうか、意見交換会の報告書としているかどうか、その視点でちょっと考えていただいて、これをまとめた後にこちらからの回答をどのようにしていくのか、担当委員会をどうするか、広聴特別委員会としてはこういうふうな回答するのかという議論になると思いますので、また意見を頂けたらと思います。実際、こちらのほうに出られた委員の皆さんのほうからすれば、この6番のこの三つの意見が、不十分だっていう話もあるかもしれませんが、その辺どうお考えでしょうか。意見を頂けたらと思います。

藤岡修美委員 こういう感じで話されたモニターがおられたのは確かですけども、全員がそうではなかったというのは、さっきも言ったように、残り2人のモニターに聞いたときに、「そうは思わないよ」という発言もされましたし、だから、これが総論的にこういう形で載ってくると、どうかなという気もしております。

奥良秀委員 要はかなり前文とか後文とかが抜けている部分があるんですよね。例えば、今言われた10年、20年後のことを考えた質問を掘り下げてほしいと言われたんですけど、こういうふうな言い方じゃなかったと思うんですよね。どっちかというところ、各議員が市議会議員になるときには、10年、20年後のいろんなことを考えられてなっているはずだから、もっと自分の意思をはっきり出して、委員会とか一般質問をしてほしいというような意見を言われたと思うんですよ。だから、書き方によって、抜き方によってこういうふうになったのかなとは思いますが、これが必要かどうかと言ったら、私としては意見としては頂いたんですけど、これは議員の皆さん、一度初心に戻って、そういうふうな意見を言ってもらえるようにということで打診したらよろしいんじゃないかと思いますし、前回、この意見交換会に出席はしたんですけど、進め

方がどうなのかなと。だから、要は報告書のつくり方もモニターの意見から始まっているんですよ。どっちかという、今回も委員長が、何かないですかというような言い方でずっと聞かれていると。だから、「何かないですか」じゃなくて、例えば、「議会だよりについて何かないですか。」とか、委員会運営について何かないですかというふうに聞かれれば、もうちょっと定まったいろんな「意見が聴取できたのかなあと」思いますので、それは今後つなげていってもらいたいと思います。だから、今このモニター意見報告書については、もう一度精査をされたほうがいいのかと思います。載っていない部分も多々あるんじゃないのかなと思うところが私にはあります。以上です。

前田浩司副委員長 モニターの方が3人ほどおられて、1人の方が特にこういったことを言われたっていう記憶があります。この書類の記述の仕方で、特にモニターの方の要望と意見ということであって、これを検討すべきっていう位置づけではないので、こういうことがあったよっていうレベルでいいんだと思います。先ほどの今後の市の10年後、20年後のことを考えた質問というのは前段で各論がありまして、その中で、例えば、保育の問題とか、あるいは日の出保育園の話とかがあったと思います。やっぱり議員として、もっと執行部に対して強気に意見を言ってほしいよという意味合いで「掘り下げた」っていうふうに私は認識しております。1番目にある議員の発言の仕方についても、やはりここに載せることによって、ほかの同僚議員の方がしっかりこの辺を見て、例えば、発言するときには気をつけないといけないという意見を頂いたと。一般質問の件についても、やっぱりしっかり政策について、執行部にこういったことを取り上げてはどうだという強気な発言をしてほしいという意見があったというレベルで、最終的にこの日の検討すべき意見としては、7番の項目が今後どうするかという議論を進めていくというような書類のつくりで、私は、ここに載せることが悪いことではなくて、こういうふうに感じられたモニターの貴重な意見ということであれば、ここは一応載せるけれども、特に検討しないといけないのが、7番目に別枠で、

しっかりそこに検討するべきものを載せていくという理解でよろしいんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

宮本政志委員 ちょっとよく分からなかったんだけど、さっき私は、この二つ目は載せなくていいんじゃないんですかって粗く言ったんです。つまり、せっかくモニターが意見を言っていたときに、意見交換会で意見を交換して、一般質問はそういう意味合いじゃないんですねというふうにちゃんと深めた意見交換をしておけば、ここには上がってこなかったでしょっていう前提ね。だから、ここに載るべきでなかったことやね。だから今後の注意点ですね。それと、先ほど奥委員が言われたことで少し気になるのは、ここに載せるときに、そこに出席した委員が、これをいきなりこの委員会の場で出てきて、いや、そういうニュアンスじゃなかったでしょう、そうでしょうってことをここでやると、モニターは怒りますよ。自分が言ったことと違うことが議論されていたら。だから、それはこれに載せるときには、そのときでこういうふうなことをおっしゃったよねっていうのをやっぱり精査して出さないと、おかしくなるよね。だから先ほど言ったように、モニターの意見を議員が勝手にこういうふうに言ったんだって解釈して載せてしまうと、そういう問題も出てくるでしょう。ちょっと副委員長、気をつけないと。6番は要望・意見だからって、大事なのが7番ですって言ったら、6番をおっしゃったモニターは、多分御立腹されんかなと思うので、そのあたり正確な物を出さないといけないんじゃないんですか。

森山喜久委員長 ありがとうございます。こちらについては、4月25日の2時からの分は再度、会議録のほうも確認して、その意見交換を精査させていただいて、4人の議員でまた確認をした上で、また改めて提出させていただきたいと思いますが、よろしいですか。

中島好人委員 委員長が、参加したときの御意見、また気づいた点を言ってくださいって言うので、僕は打って、企業って書いてあるのを、「これは

やっぱり企業じゃなくて団体のほうがいいんじゃないか」とか、森山委員長宛てに返信した内容があるんですね。それとか、モニターさんがこういうことを言ったよということも委員長に伝えたんだけど、そういう中でもそれはここに出すことじゃないということで、委員長の判断でそれは取り上げられなかったんです。それはそれで判断だからいいんですけども、僕は今日の会議がより有効になるようにと思って、委員長に意見をしていたんです。やはりそういう作業をきちっとやって、やっぱり今日みたいなときには、ある意味審議するという内容じゃないんで、一応確認するというふうな会議にしないといけないんじゃないかな。僕はそうしたから偉そうに言っているんですけど。以上です。

森山喜久委員長 ありがとうございます。

白井健一郎委員 先ほど森山委員長は、今日のこの場がモニターとの意見交換会の報告書の加筆とか補正とか修正とかの場って言いましたけど、それはもうメールのやり取りとかで一応終わっていると捉えていいんですね。だから、この報告書を受けて、1点目はモニターからが実質的に何を言われたのか、我々が何を要望されたのか、意見されたのかっていうことを考える場にすべきだったんじゃないかと思います。その点どうでしょうか。検討の余地はありますか。

森山喜久委員長 そうですね。今、それぞれから言われた部分で、こちらの意見交換会の確認ができる体制について、このたびは不十分だったというところがあります。先ほど述べましたように、4人の委員でこの意見報告書を再度確認させていただいて、また改めて出させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）一旦暫時休憩します。

午後 2 時 2 1 分 休憩

森山喜久委員長　それでは委員会を再開いたします。先ほど市議会モニター意見交換会の報告書について、1月のものが確認できたと思います。その中から、モニターからの意見を抜き出し、そしてそれを担当委員会に振り分ける必要があると思いますので、私から口頭で提案をさせていただきたいと思います。モニターからの意見で、「一般質問のテーマに対してのタグなどがあれば、Y o u T u b eでもっと見やすくなるのではないか。」については広聴特別委員会。次に、「市民の声を聞くためにアンケート調査をされてみては。返信はがきなど検討されてみてはどうか。」については市議会だよりの話だったので広報特別委員会。「人が集まるところに議会カフェを行う方法もあるのではないか。東京理科大での議会カフェ開催もどうか。」は、当委員会で対応となると思います。「議会カフェの開始時間、10時に出来ないか。」につきましても、本委員会で。そして「Y o u T u b eに外部リンクを付けて、一般質問の通告書に飛べるようにしてもらいたい。」というのも、本委員会で。「議会だよりのハードカバーにするなりして、市広報より目立つ方向を意識してはどうか。」については広報特別委員会。「議会だよりの若者が読みたくなるような表紙にしてはどうか。若者の意見がほとんどない。」は広報特別委員会に。「L I N Eの通知を見ることが多いので、一般質問はいつする、といった通知を、HPのリンクもつけて行って欲しい。」は、本委員会で。そういう形で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、今の8項目の中で、3項目については広報特別委員会のほうにお渡しして、それ以外の五つについては本委員会でまた改めて議論を深めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、1番の付議事項の市議会モニターとの意見交換会については、以上でよろしいですね。では、2の議会カフェについてに行きたいと思います。議会カフェにつきましては、議会報告会のマニュアルがあると思いますので、そちらをタブレットで確認をお願いいたします。議会カフェ設営・運営マニュアルで確

認していきたいと思いますが、日時につきましては、2024年5月15日水曜日の14時から厚狭地域交流センター、19時からAスクエア、つまり旧山陽小野田市商工センターになります。5月16日木曜日が14時から高泊コミュニティ体育館、19時から埴生地域交流センターということでお願いします。前日までの全議員の職務につきまして、議員1人につき参加者3人以上、広聴特別委員1人につき参加者5人以上の出席ということでお願いいたします。議員1人につき3人、広聴特別委員会の委員につきましては5人以上になります。こちらの集計につきましては、先般、2月のときにも、紹介議員の実績報告をさせていただきましたが、同じように報告をしていただきたいと思います。当日につきましては、備品搬入は、昼は13時から、夕方は18時からしていきたいと思います。それまでに、備品を正副委員長と事務局員で運搬、搬入を行います。議員は1時間前集合で、午後1時と午後6時に集合となります。議員全員でグループテーブル、今、A、B、C、Dの4グループ分、受付テーブル、議長・司会テーブル、カフェテーブル、プロジェクターテーブルと記録用紙、グループ番号とICレコーダーの設置ですね。記録用紙は特に必要ないですね。皆さんの意見を聞きたいと思います。

宮本政志委員 今、テーブルの数もあったけど、前回、議員1人につき3人、広聴特別委員は5人呼びましようってなって、どれぐらいの議員がそれぞれ呼んでいるかが分かりません。委員長、資料をまとめていますか。

森山喜久委員長 前回の実績ですか。ちょっと待ってください。前回の議員からの紹介は全部で147人で、各議員それぞれの分の一覧表は載せています。2月22日のこちらの委員会でも報告をさせていただいています。口頭で言ったほうがいいでしょうか。それとも皆さんにお示ししたほうがいいですか。

宮本政志委員 僕が言いたかったのは、前は150人ぐらい来たよね。今、4グループの設定でいいんですか。

森山喜久委員長 前回も一応4グループにして、一杯になれば5グループ目をつくり、5グループつくるような体制にしました。実際、2か所あふれましたので、そちらについては、それぞれ常任委員長とか議長とかにも手伝っていただいて、六つ目のテーブル、七つ目のテーブルをつくったのが前回のときの状況です。A、B、C、D、Eの5グループという形で、このマニュアルの修正をお願いいたします。こちらは前回のマニュアルなので、若干加筆修正しますが、皆さんのほうで気づきのところがあったら言ってください。

宮本政志委員 前回の議会カフェのときの自由記述で市民の方から「資料に関してのページ数を掲載してほしいです」という意見があったと思いますが、これはすぐにでもできるので、その方向性を委員会で決めてください。まず1点目そこです。

森山喜久委員長 こちらのほうで添付資料の委員会資料、議案の資料にページを振っていなかったので見えにくかったという御指摘がありましたので、このたびについてはページを記載していきたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

宮本政志委員 今、市民の方に名札を貼ってもらっていますよね。名前を書いてもらってね。ケースですか。それってなぜ必要なのかっていうのがあるんですよね。市民の方からそういったことも出ていますので、今回から市民の方に名札をつけていただかなくていいと思うんですが、いかがでしょう。

森山喜久委員長 今、名札を廃止してはどうかという御意見だというふうに思いますが、そちらについて、皆さんから御意見はありますか。

藤岡修美委員 実際、各テーブルで市民の方が手を挙げて質問するときとか意見を求めるときとかに、司会が「あなた、どうぞ」ってやれますか。

宮本政志委員 今、藤岡委員がおっしゃるのもごもつともですね、今回は私と大井委員は、全部の司会進行をやってくださいってことでした。私は全員市民の方の名札は見ません。「はい、じゃ、どうぞ」というふうにやるんで、名前を呼んだことないですよ。恐らくほかの議員に聞いても、名札を見て、何秒か空けて、「何々さん」ってことはない。他の議員に聞いてみて、そうすると市民の方は、「名札をつける意味があるんですか」っていうふうに意見を述べていらっしゃったので、ごもつともだなと思って、必要ないんじゃないっていただけですね。みんなで議論したらいいんじゃないですか。正直言って、その準備も省けるでしょうということ。

森山喜久委員長 実際に名前を指名してからやるケースと、それをせずにどうぞっていう形でやられるケースに分かれているのと、あと、やっぱり当日の受付のときに、名札を書くことでの混雑と混雑して名前を書いた割には名前を読んでいないという状況もあるのかなと思います。その辺で皆さん方で御意見があれば。

白井健一郎委員 名札についてはこだわりませんが、「今から始めます」と、動画が終わった後に参加者の市民が自己紹介するっていうのを以前やったんですよ、うちのテーブルでは。それもなしですか。自己紹介すると当然名前を言いますよね。そのときにやっぱり、どこどこの何々さん、日の出の白井さんと。大体皆さん御存じの方ばかりでしょうけど、その挨拶はどうなんでしょう。名前を言うときの挨拶もなしですか。委員長にお尋ねします。

森山喜久委員長 自己紹介のところは別にいいと思うんです。名札をしていないから自己紹介をしなくてもいいというわけではないんですが、マニュアルでは議員の自己紹介しかなくて、市民の自己紹介は入れておりません。そこで名札がなくても——今ちょっと名札の件と各テーブルでの自

己紹介という二つがありますので、まず名札についてどういたしましょうか。

奥良秀委員 失礼がなければ、もうなくしてもらってもいいと思います。以上です。

森山喜久委員長 ほかの方もなくすということによろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)では、名札についてはなくすことにしたいと思います。ですから、それについての必要事項をマニュアルから削除をさせていただきます。マニュアルの2ページになりますが、意見交換会の中で、議員の自己紹介というふうに書いていますが、グループによっては市民の方も含めて自己紹介をしているという形もあったという意見がありました。実際、皆さん方のテーブルとか、どのような状況だったのでしょうか。

宮本政志委員 いや、これは書いていないんじゃないか、市民の方の自己紹介してもらわなくていいでしょう。それは統一で言えばええんよ。ルールに書いていないんだから、各テーブルのときに、議員は3人自己紹介しても市民の方に自己紹介してもらうのはやめてくださいって形で統一させなきゃいけんよ。それはする必要ないと思うよ。

森山喜久委員長 議員だけの自己紹介でいいんじゃないかという話もありましたが、そのほかは。

奥良秀委員 これは、2ページ目のところに書いてある14時のところにある4番目の③ですね。議員紹介ってあるんですよ。だから、これをなくしてテーブルところで、何々です、何々ですって議員が言えばもうそれで終わるのかなと思います。だから、だらだら自分のこと言わなくて、例えば、私だったら、「奥です。よろしくお願いします」でいいんじゃないかなと思います。

森山喜久委員　ですから、全体会は要らないということでもいいですね。全体会の議員紹介はなしで、意見交換会のところで議員の自己紹介のみを行うという御意見がありました。

白井健一郎委員　今、奥委員が言われたような形で一遍やってみてですね、それでうまくいっていなければ、ちょっと物足りなさが残るんなら、ちょっともう一遍考え直すという形で、今回は実験的にやってみたらどうか。議員紹介はなしということでもいいんじゃないでしょうか。

宮本政志委員　テストでするなら逆で、テーブルに着いていない議員が誰か分からん可能性があるから、最初に全員の議員を司会者がこれまでどおり紹介して、そうすると、集まる市民が少なくてテーブルにつかない議員は後ろにおるケースがあるから、まず全体で全員を説明して、テーブルには、名札があるので、自己紹介する必要ないから、テーブルでの自己紹介を省けばいいんじゃないですか。取りあえず全体会で一応したほうがいいんじゃないです。

中島好人委員　私は、全体の分は省略してもいいんじゃないかと。それで、やはりテーブルの中でやっぱり和むっちゃうかね、いろいろな意見が出てくる。やっぱりテーブルの中では、きちんと、「私、産業建設常任委員会です。中島です。よろしく」というところはあったほうがいいと。だから、全体の挨拶があった後、全員21人でしょ。順々に自己紹介する時間を省いたほうがいいんじゃないかと。私の意見です。

森山喜久委員長　実際、テーブルごとで司会進行する人が、「司会の何々です」とかいう自己紹介を若干するかなと思いますが、今、全体会の紹介をなくしたほうがいいんじゃないかという意見のほうが多いような気がするけど。それでは、全議員の紹介はせずに、3常任委員長とテーブルに着いていない議員と受付をしている議員については全体会で紹介させていただきますが、テーブルに着いている議員については、各議員のほうで

していただくということでもよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）

奥良秀委員 このたびの会場に高泊コミュニティ体育館があるんです。エアコンとか空調とかってというのは、寒いときには赤いジャンパーは暖かかったからいいんですけど、冷房がないところで赤いジャンパーを着るってというのは、統一的に見えるのはいいんですけど、暑くないかなっていうのがありまして、協議していただきたいと思います。

森山喜久委員長 その辺は、当日の気温とか天気にもよるんでしょうけれど。

奥良秀委員 議員によっても体感が多分違うと思います。統一できればいいんですけど、やっぱり汗だらだらでやっているのもどうかなっていうのがありますので、臨機応変にできるようにしていただければと思います。

森山喜久委員長 取りあえず皆さんには各自ジャンパー持ってきてくれということはお願ひしておりますので、最初、全員が集まった時点では着ておいていただいて、後は脱ぐかを含めて、当日の天候を加味しながら判断させてもらえたらと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

宮本政志委員 それぞれテーブルごとの進行と記録者が全部載っ取るんだけど、これ前回はまず、各テーブルの最後の記録発表はもうやめましょうということで、委員会で決定しました。そうすると、進行役だけで十分で、テープレコーダーがあるんだから記録を筆記する人はもう必要ないということが1点。そうすると、今度、誰が全体の会場の議会報告会の報告書をつくるのかっていうつくり方が2点になるんで、その辺りは委員長、どうなんですか。これも削除せんにゃいけんよね。記録者とかどうだとか。

森山喜久委員長 そうですね。テーブルごとで進行の方は1人だけで、今言わ

れたように、記録者の方を削除させていただけたらと思います。テーブルごとにICレコーダーで記録をしていただきますので、3人の方で責任を持ってオン、オフはしていただく。録音データは事務局経由で頂いて、委員長が報告書を作成するのようにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。(うなづく者あり)委員長に一任していただきたいと思います。よろしいでしょうか。

宮本政志委員 報告は委員長に一任しましょう。つくってもらったほうがばらばらにならんでいい。それで、スイッチのオン、オフを忘れとるケースが時々あるでしょ。できれば最初、始まる直前に各テーブルに入れてくれて言って、入れたかどうかを確認することをマニュアルに入れたほうがいいと思うよ。

森山喜久委員長 少なくともスイッチを入れてくれというのはマニュアルに入りたいと思います。ありがとうございます。ほかには。

白井健一郎委員 持論を展開しないことってありますね、注意事項の中に。これが要は、例えば自分が反対していたけれども、賛成多数になったという場合は、賛成多数の意見を言うということは分かりやすいんですが、その説明の中で自分が思っていることをついつい言っちゃうことがあるんです。私は、1期生ですからこの議会カフェの経験もそんなにないから、皆さんは当たり前のこととして思っているかもしれないけど、やっぱりこれは議会全体で盛り上げる議会カフェのイベントというか催物なわけで、あまりこう我が我がというか、俺の意見はこうだったみたいなことはなしというように捉えたらいいんですよね。

森山喜久委員長 あくまで議会の報告会であり、議員の報告会ではないので、議会で決定したものが何だったのかという部分を報告していただきたいと思います。

宮本政志委員 これね、今、白井委員が言われることは、重要でね。毎回これを注意事項に書いても、前期のときからそうなんやけど、ほとんど守られていないよね。市民の人が言うことを平気で否定したり、あるいは、だったら、だったらと自分の意見を言って、市民の人をないがしろにする。だから、注意事項が書いてあっても、議員は分かっていない、理解していない。守らない議員は多いよ。だから、委員長、今日は無理にしても、直前だから何か考えたほうがいいね。これ書いたって、守らへんよね。守ってないもん、実際。本当に。だから、それをどねえかせんといけんのは、また、この委員会で考えましょう。自分の意見をだらだらだらだら言うたり、間違っただけを平気で言うたりね。特にいけんのは、やっぱり市民の方が言うことを否定するっていうこと。やっぱりあるよ。しちゃいけんよね。これに書いてあるけど守られんのが多いから、また今後直前になったら、何かこう効果的な方法あるかどうか分からんけど、今、白井委員が言われたようなことも踏まえて、やっていきましょうね、委員長。

森山喜久委員長 そうですね。こちらの注意事項は、文字の羅列だけでは意味がないという話で、この部分はやっぱり自覚しておりますので、また模索しながら、またあと各テーブルに着く皆さん方にも、こちらの協力をお願いしながら進めていきたいと思っております。少なくとも当日集合したときには、こちらの注意事項を改めて言わせていただきたいというふうに思います。

奥良秀委員 あくまで、A、B、C、D、Eであるチームでやるようなものなんで、そういうふうなところの面を見つけたら、議員同士で注意をして、止めるしかないと思っておりますので、その辺も注意喚起されたらいいんじゃないですか。

宮本政志委員 それができちゃったらもうできとるんよ。そうじゃないんよ。だからこれ、今度、議論していこう。

森山喜久委員長 どちらしても継続的な課題ということで。

中島好人委員 全体会のところでいいですかね。一番下、①アンケートがありますよね。全体会、2ページ目、②で、写真を撮るんで、許可が要ると思うんです。広報紙等っていうか、議会だよりっていうか、写真を撮るんで、都合の悪い方は申し出てくださいますと。マニュアルだから忘れんように。

森山喜久委員長 その件については、全体司会の進行シナリオには記載させていただいています。こちらにはつけさせてもらってなかったんですけど、写真の許可を取ることは、事前のところで入れさせていただこうと思います。また、全体司会とは別に記載を考えます。そのほかにはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、マニュアル全体の部分では最終ページのところになりますが、「各テーブルの記録担当者はICレコーダーでの記録を開始してください。」、これは削除しておいてください。では、マニュアルについては以上のような形で進めさせていただきたいと思います。

奥良秀委員 最終ページの反省会の日時決定も、もう要らないですね。

森山喜久委員長 反省会の日時決定は要りませんね。全員で行きますので、引継ぎ事項の確認の記載も要らないですね。その2項目を消してください。ですから、今、一つ一つは言いませんけど、マニュアルの中に書いてある名札の関係と記録の関係については、私が削除してきますので、よろしく願いいたします。マニュアルについては以上でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり。）ここで一旦暫時休憩とします。

午後3時 7分 休憩

森山喜久委員長　それでは再開いたします。カフェの当日レジュメ案の準備をお願いいたします。それと議会カフェ当日のテーブルを 5 テーブルに区分けすることです。進行役の決定は委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）そちらでお願いいたします。では、議会カフェの当日のレジュメになります。先ほどの話になりますが、1 の議長挨拶、2 の議員紹介につきましては、3 常任委員長及び受付の議員としたいと思います。議会報告会、そして意見交換会という流れで示していくということで、あと議会報告会の内容で、2 ページになりますが、議会報告会用動画の視聴ということで、総務文教常任委員会で、今、1 に A スクエア、2 に市民活動団体の支援拠点を新設、二つ目に厚陽小中学校に小規模特認校制度を導入。民生福祉常任委員会のほうは、最初に新生児の聴覚検査費用の助成、二つ目にごみ収集運搬業務を段階的に民間委託。産業建設常任委員会は、水道料金値上げ分の緩和のために、令和 6 年度にオートレースの会計から 7, 0 0 0 万円を市に繰入れ、水道会計に市が出資するという形で、議会報告動画の順番は今のようになっております。前回、何が上がってくるのは分からないという話もありましたので、そちらのほうの項目を入れたのと、括弧書きのところも入れましたが、参加された市民にも文字を書いてもらうようにしたらどうかという一応提案で入れさせていただきました。その辺で、当日レジュメの関係はこのように準備したいと思いますが、いかがでしょうか。

宮本政志委員　気になるところが、民生福祉の 2 番ね。これは R 6 よね。で、産建の下は R 6 年度だけど、これはどうなんかな。例えば「令和 6 年度」ってするんか、それは「R 6 年度」でもいいんやけど、これ民間委託のところは R 6 やないよね。この辺の訂正は、委員長にお願いします。

森山喜久委員長　「令和 6 年度」で統一したいと思います。議会報告と意見交

換会の時間配分が分からなかったというところもありましたので、議長挨拶の後の議会報告で、例えば30分までが議会報告会用動画で、それ以降は意見交換会ですよみたいに入れる。視聴動画を見て、15分ぐらいですから、30分から40分です。今の御意見で、議会報告と意見交換会の分で、ある程度目安の時間を入れたらどうかという話がありますが、皆さんはどうでしょうか。ですから、議会報告で30分程度、意見交換会で例えば50分程度といった記載をしてはということです。あとはどうしても議長挨拶や紹介の分で若干時間がかかると。なら、そちらは30分と55分ぐらいですかね。おおよその時間の記載をしたいと思います。

宮本政志委員 これ気をつけないといけんのが、今、議会報告の3番を30分とか35分とかと。動画を視聴してその報告に対する意見を聞くことも含めて、とにかく報告が、例えば30分、35分です。その他の4番で意見交換でしょ。

森山喜久委員長 そうですね、それぞれ委員会報告動画の視聴と感想、意見。

宮本政志委員 感想でなくて、報告したことに関することやろ。その辺りは丁寧に載せておかないと。議員の中で、勘違いしてもらったら困るけえね。意見交換に議会報告した議案の内容のほうまで全部入ってしまうと、ますます本来の望む意見交換の時間が短くなっちゃあいけんけえね。委員長、その辺をちょっと気をつけてね。時間が長いテーブルがあったらいいんでね。物すごく時間を割いたところもあったみたいな、その辺り、また直前にやっていきましょう。

森山喜久委員長 また、そちらも時間を入れながら、また当日の説明も改めて時間配分の徹底を示していきたいと思います。議会カフェのレジュメの関係はよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）あと、当日の委員

会報告概要を出していただけたらと思います。小さいですけど下のほうにページは割り振りしていますので、先ほどあった「資料にページを振っていない」という意見は、1ページからそれぞれページを振っています。一応、内容の関係は事務局含めて確認をさせていただいていますが、こちらの方も委員長にまた一任していただくということでよろしいですか。（「はい。」と呼ぶ者あり）それでは、一任として、3 常任委員長にはまた確認させていただくかもしれませんが、その辺はまたよろしく願いいたします。それでは、議会カフェのアンケートになります。このたび、モニターの意見にもありましたが、自由記述欄Qの3、「今回の議会カフェに関して御意見御要望などございましたら御記入ください」という自由記述欄がすごく狭い」という話がありましたので、今回、その議会カフェのアンケートの部分の自由記述欄を広くさせていただきました。右上のほうの四角ですが、番号を記載していくような感じで、1番から通し番号を記載していくようにしたいと思います。このような形での議会カフェのアンケートとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

奥良秀委員 このアンケート用紙の裏側って白紙ですか。

森山喜久委員長 そうですね。前回で言えば白紙でした。

奥良秀委員 であるならば、もう裏を全部使って、「記入してください」とって記載したらいいんじゃないですか。レイアウトはどうなるか分かりませんが。もうそこまでやれば、御要望にお答えできるんじゃないかなと思いますので。せっかく裏が白紙であれば、そのようにされたらいいんじゃないですか。

森山喜久委員長 「不足であれば、裏面も御利用ください。」という表現にするか、その辺をちょっとまた、レイアウト含めて検討させてください。

宮本政志委員 気をつけといけんのがね、今のこの欄で「足りない場合は裏に書いてもいいですよ」ってことにしておかないと、みんな、ひっくり返して帰ってよね。テーブルの上に。そうすると自分が裏に、たくさん書いたのが出てしまう。表も裏も、どっちにしても見られるのを嫌がる人がおってやけ、その辺はちょっと考慮してね、ここに書き足らんやったら、「裏に書いてもらってもいいですよ。」みたいなほうがまだええよ。

森山喜久委員長 基本ベースはこのままにして、書き足らなかつたら、「裏面のほうも利用してください。」という形の分をつくっていきたいと思います。その他は。

奥良秀委員 あと年齢のところは70歳から波線になっているんですけど、70代、80代とやっぱりやったほうがいいんじゃないかなと思います。

森山喜久委員長 では80代も加えて、80代以上でよろしいですかね。今のところと言えば、意外と性別とか年代とかのところをチェックされるのを嫌がる方もいらっしゃったのは前回も気づいていましたけど、今回は取りあえず80代まで加えてみたいと思います。ほかはよろしいでしょうか。議会カフェのアンケート以上ということではよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）2の付議事項の議会カフェについては、皆さん方、全体的に。

白井健一郎委員 前回の議会カフェの報告書というか、報告書という名称かどうか忘れちゃったけど、ここにも載っているんです。市民からの要望として質問と意見がありました。それを分けているんですね。質問に対しては、丁寧に所管の委員会に割り振って答えているんですが、意見がそのまま残されているんですよ。20項目ぐらいあります。これをやっぱり何らかの形で手をつけないと、聞きっ放しになるんじゃないかなと思って、その点だけ意見したいんですけどどうでしょうか。

森山喜久委員長 どの関係ですか。どういったことですか。

白井健一郎委員 広聴の4月11日、1番ですね。全資料結合の広聴特別委員会のところですね。見ていただくと、質問に対しては回答がくっついているんだけど、意見はそのまま残っているんですよ。4月11日です。ずっと後ろのほうまで見ていただければ。議会カフェ報告書①ですね。作成日は令和6年の1月30日で森山委員長がつくったものです。4月11日のところに入っています。ずっとページめくっていただくと、最後に意見が幾つかあるんですよ。報告書①にも報告書②にも。報告書①でも、意見が最後四つくっついていて、報告書②についても、意見は最後にありますね。四つくらい。要望も二つあります。もう一つよろしいでしょうか。この意見をどう取り扱うかっていう私の提案としては、全議員に閲覧できるような形で一つにまとめて、そして実際にメールか何かで配ったりとか、あるいはどこかに置いておいたりとか、そういうことから始めるべきではないかと思うんですね。いずれにしても、スルーはよくないと思うんです。

森山喜久委員長 こちらの報告書自体を全議員閲覧できる状況にはなっていませんけど、それとは別に特出しをしてということですかね。

白井健一郎委員 報告書を皆さんは厳密に読まれますか。ちょっと疑問ですよ。やはり、もう議会カフェで頑張っても、やっぱりもう一応終わった。次の仕事どんどんありますし、だからそこで、やっぱり、何らかの形で市民に回答しなくちゃいけないってことで、取りあえずは皆さんに読んでもらう。これを一般質問で取り上げようとか、この委員会で取り上げてみようとか、そういうところのきっかけづくりから始めたらどうかと思うんです。もちろん、ほかに何か有効な手段があれば別にそれはそれで構わないんですけど。

宮本政志委員 今の白井委員の提案というかな。それも踏まえて、また改めて、

広聴特別委員がもう1回この意見に目を通して、先ほど、言われるように全議員に周知するという形をとるのか、あるいは、何かしら常任委員会に振れるものは振っていくとかね。その辺りまた、もう一度これに関しては議論したらいいんじゃないですか。

森山喜久委員長 後日改めて議論しようという話が提案ありましたが、その辺、白井委員、よろしいでしょうか。

白井健一郎委員 はい。

森山喜久委員長 皆さん方も、よろしいですか。ではまた改めて皆さんにも、前回の議会カフェの報告書にまた目を通していただいて、改めての議会カフェの報告書も含めて、その意見等を要望の取扱いをどうするのかを改めて議論をしていきたいと思います。では、議会カフェについてはよろしいですか。（「はい。」と呼ぶ者あり）3のその他になりますが、皆さんから何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして広聴特別委員会を閉じます。皆さんお疲れさまでした。

午後3時34分 散会

令和6年（2024年）5月10日

広聴特別委員長 森山喜久